

合併処理浄化槽処理水を道路側溝へ放流するための排水管占用申請について

埼玉県行田県土整備事務所

令和4年4月1日

道路側溝は道路の雨水排水を目的として設置した構造物であり、一般家庭の生活排水を流すことは禁止されています。

ただし、下記の基準を満たす場合、合併処理浄化槽処理水を道路側溝へ放流するための排水管占用許可申請をすれば、例外的に側溝への放流が認められることがあります。

記

1 基準

(1) 放流可能浄化槽からの放流であること

一戸建て住宅に設置する処理対象人員 10人槽以下の合併処理浄化槽であること。

※上段以外は不可。(集合住宅、事業所、雨水排水、単独浄化槽等)

(2) 放流可能地域であること

下水道法第4条第1項の事業計画を受けた地域以外(下水道未整備区域)であり、**流下能力に余裕がある県道側溝と自己の敷地が直接接していること。**

ア 県道側溝の流下能力に影響すると判断できる場合は、他の基準を満たしていても許可しない場合があります。分譲計画等の場合は必ず事前(分筆する前など)に御相談願います。

イ 県道側溝が農業用排水路を兼ねている、あるいは接続されているばあいは、農業用水路管理者への届出及び協議が必要です。

(3) 県道側溝以外に流末を確保することができないこと

ア 側溝付きの市道や集落排水路等、県道以外の放流可能路がある場合はそちらへ放出。

イ 県道側溝があっても、その流末が未整備、浸透式の井戸等、放流が適切でない場合は不可。

2 接続方法

(1) 合併処理浄化槽から直接側溝に放出せず、敷地内に最終柵を設けて上澄みを放流すること。

(2) 最終柵の流出側管底高は、側溝に接続する地点の管底より30cm以上高くすること(図1参照)。

30cm確保できない場合は、敷地内の管に逆流防止弁を設けること。ただし、放流ポンプ層が設置され、または逆流防止弁や水質を確認している柵を備えている場合は可とする。

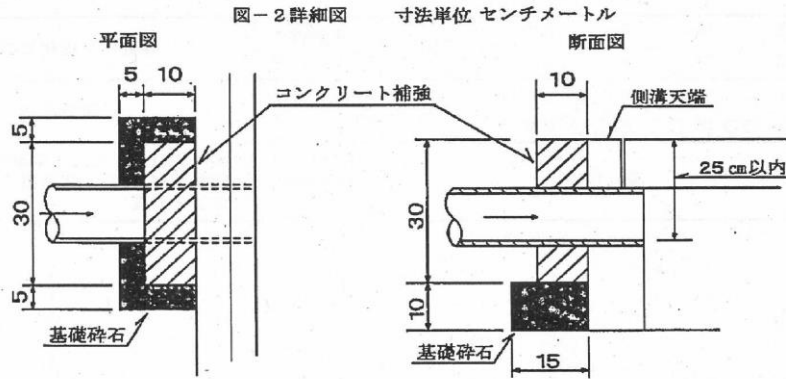
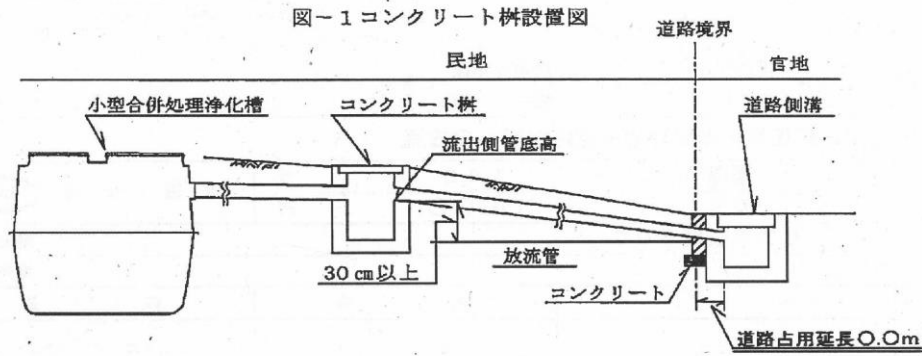
(3) 側溝へ接続する位置の高さは、側溝が満水で流れる時の影響を考慮して、側溝天端高より25cm以内の位置に接続すること。

(4) 排水管の接続により側溝側壁の強度が低下するため、側溝の背面をコンクリート(30cm×30cm×10cm)及び基礎碎石で補強すること(図2)。

(5) 管の接続後は、コンクリートやモルタルを充填し、仕上げを行うこと。

(6) 側溝へ接続できる合併処理浄化槽は10人層以下までとする。合併処理浄化槽の規格(規模)がわかる書類を、申請書に添付すること。

(7) 雨水排水等の側溝への流出は一切認めないことから、最終柵に他の排水管等を接続しないこと。また、既設排水管を排する場合は接続部を閉塞すること。



3 道路占用許可申請（側溝放流）添付書類一覧

申請書および添付書類は 2 部提出してください

- (1) 案内図
- (2) し尿浄化槽に関する調書（合併処理）
- (3) 工場生産浄化槽認定シートの写し
- (4) 側溝との接続図面 平面図・断面図
- (5) 住宅配置図（浄化槽排水経路のわかるもの）・間取り図
- (6) 占用場所のカラー写真

<p>記入例 道路占用許可申請書</p> <p>新規 変更 指令 整第 号 規 更 平成 年 月 日</p>							
<p>（あて名） 埼玉県 行田 県土整備事務所長</p> <p>申請書 1部提出 添付図書 各2部提出</p> <p>〒 000 - 0000 住 所 行田市大字長野000 氏 名 行田 太郎 印 担当者 △△設計 0000 （代理人の氏名） TEL 048-xxx-xxxx （代理人電話番号）</p> <p>申請日 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日</p> <p>認印(実印不)</p> <p>いずれかに○ 新規以外は、従前の許可番号、許可日を記入</p>							
<p>道路法 第32条 の規定により 許可を申請 します。 第35条 協 議</p>							
<p>占用の目的</p>	<p>小型合併処理浄化槽の設置に伴う処理水の側溝放流</p>						
<p>占用場所</p>	<p>路線名 県 道 号 線 車 道 歩 道 ・ その他</p> <p>場 所 行田市大字長野943 地先から 地先まで</p>						
<p>占用物件</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 模</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水管</td> <td>VP φ100mm</td> <td>L=0.1m</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 模	数 量	排水管	VP φ100mm	L=0.1m
名 称	規 模	数 量					
排水管	VP φ100mm	L=0.1m					
<p>占用の期間</p>	<p>平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで 間 占用の期間は記入しなくてもよい</p> <p>占用物件の構造 硬質塩化ビニル管 (排水管の材質等)</p>						
<p>工事の時期</p>	<p>平成 年 月 日から 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日まで 間</p> <p>工事実施の方 法 請負施行</p>						
<p>道路の復旧方法</p>	<p>指示のとおり</p> <p>添付書類 案内図(1/50,000) 平面図(1/500) 縦断面図(縦1/100 横1/1,000)、保安図 横断面図(1/100) 構造図(適宜)、カラー写真</p>						
<p>記入要領</p>	<p>「許可申請書」(第99条) 「許可申請書」</p> <p>浄化槽の認定書等も添付</p>						